基礎・基本の定着を図る取組及び科学的な考察の充実を図る取組

【八潮市教育委員会】

- 1 学校・学年・教科 中学校・全学年・理科
- 2 ねらい

理科における確かな学力の向上への取組として、言語活動の充実を図る。

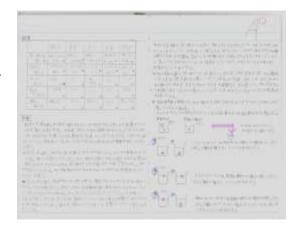
3 取組内容

本校の生徒は、非常に素直で、真面目に学習に取り組んでいる。 しかし、基礎的・基本的な内容がなかなか定着しないことや自分 の考えをきちんと伝えることが苦手なことが課題である。そこで、 授業における基礎的・基本的な内容の定着を図るための取組と、科 学的な考察の充実を図るための取組を行った。



(1) 基礎的・基本的な内容の定着のために

① プレゼンテーションを活用した繰り返し学習 理科の授業では、観察・実験を多く取り入れることが学力向上を図るために必要であるが、観察・実験には多くの時間がかかる。50分の授業の中で、いかに効率よく基礎的・基本的な内容を身につけさせるかを考え、プレゼンテーションソフトの導入を行った。プレゼン形式で基礎・基本の復習を行えば、短時間で多くの内容を復習することができる。また、最初の作成に時間はかかるが、一度作成してしまえば何回でも使えるし、他の先生との共有も可能なので、非常に効率的である。



② 家庭学習の習慣化

本校では、全校生徒を対象に、家庭学習の取組を行っている。学期当初に全生徒に家庭学習帳を配布し、各自のペースで、1日2ページ以上の家庭学習を行い、翌日担任がチェックし、励ましのコメントを記入している。

(2) 言語活動の充実のために

① 観察・実験レポートの充実

理科の授業では、年間の7割以上の授業で観察・実験を行い、必ず理科ノートに考察を記入させ、提出させている。ワークシートはあえて使わず、実験結果や考察を各自の工夫に任せて作成させている。特に、考察については、自分の考えや独自に調べたことなどを記入すると評価を高くし、十分に考えて作成するように指示している。

③ 話合い活動の充実

観察・実験を行う際、必ず個人で予想を立てさせていたが、班全員で意見交換をする時間をも うけるようにした。話合いの時間は、生徒の意欲向上や学習課題の明確化につながっている。

4 取組の成果

これらの取組によって、生徒の学習意欲は確実に高まり、理科の授業を楽しみにしている生徒が増えた。また、学力状況調査の結果も僅かずつではあるが正答率が向上している。今後も、楽しくわかりやすい授業を目指し、日々努力していく。